



令和 8 年 (2026 年) 9 月 19 日 (土)
広島市安佐動物公園 管理課長：田村
担当：企画広報係 梅田、田邊 ☎082-838-1111

オオサンショウウオが産卵しました！

安佐動物公園では令和 8 年 (2026 年) 9 月 16 日 (水) にオオサンショウウオ保護増殖施設 (非公開) において産卵がありました。産卵数は推定 400~600 個です。当園での産卵は令和 5 年 (2023 年) 以来、3 年ぶりとなります。

1 産卵

9 月 16 日に産卵した個体は「クチ」(雌、保護個体、年齢不明) です。「クチ」は今回 6 回目の産卵です。

現在ヌシ※として卵を守っている個体は「ハッパ」(雄、1998 年安佐動物公園生まれ) です。

2 卵の展示 (一般公開)

今後の卵の発生状況や水槽内の個体の様子を見て、後日、卵の一部を巣穴から移動して、三井のリハウスぴーちくパーク内「どうぶつ育ての家」で展示し、一般公開します。オオサンショウウオの卵は数珠つなぎになって、まるで“真珠のネックレス”のような美しい卵です。

3 巣穴の撮影について

巣穴の卵は短時間であれば撮影可能ですが、状況によっては撮影できない場合もあります。なお、産卵のあったオオサンショウウオ保護増殖施設は非公開施設のため、取材を希望される場合は予めご連絡ください。



産卵後の巣穴 (9/16 撮影)

※オオサンショウウオの繁殖行動について

野生下のオオサンショウウオは多くの場合、雄複数頭と雌 1 頭で繁殖行動を行います。繁殖シーズンになると「ヌシ」と呼ばれる繁殖巣穴周辺で一番強い雄が繁殖巣穴を占有し、他の雄が繁殖巣穴に入ることを許しません。しかし、産卵前の雌 1 頭がその巣穴に入ると、「ヌシ」のそれまでの攻撃性がなくなり、他の雄も巣穴に入って繁殖行動に参加できるようになります。一度の産卵が終わると、別の雌 1 頭と入れ替わり、同様の繁殖行動が繰り返されます。このような産卵中の「ヌシ」の行動は、オオサンショウウオにみられるユニークな行動の一つです。

開園時間 午前 9 時から午後 4 時 30 分まで (ただし、入園は午後 4 時まで)

入園料 大人 510 円、65 歳以上・小人 (高校生及び高校生相当年齢) 170 円 ※中学生以下無料
※65 歳以上の適用には公的証明書が必要

休園日 毎週木曜日 (ただし、祝日の場合は開園)

ASAZOO AUTUMN Fest.: 9 月 5 日 (土) ~ 11 月 28 日 (土) の主に土日祝にイベント開催！